



立命館アジア太平洋大学

2020年4月6日 配信 APUリリース 2020-01

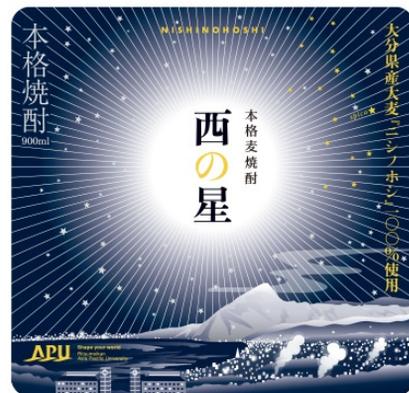
大分・宇佐生まれの本格むぎ焼酎「西の星」とAPUがコラボ 開学20周年記念 APUオリジナルラベル「APUコラボ西の星」が登場 2020年4月13日（月）発売開始

立命館アジア太平洋大学（所在地：大分県別府市 学長：出口 治明、以下APU）は、APU開学20周年記念APUオリジナルラベル「APUコラボ西の星」を、2020年4月13日に三和酒類株式会社（本社：大分県宇佐市 代表取締役社長：下田 雅彦、以下三和酒類）より発売開始することとなりました。本商品は、大分県産大麦「ニシノホシ」を100%使用した本格焼酎「西の星」のラインナップに、数量限定で販売します。

APUは、2013年に三和酒類と「産学連携推進に関する協定」を締結し、これまでも連携を進めてきました。近年、その取組みが一層進展し、出口治明学長の三和酒類全社員研修での講演会の開催（2019年8月）、APUの学生と三和酒類従業員との交流などを実施してきました。様々な産学連携について議論を行う中で、この度APU開学20周年を記念した「西の星」オリジナルラベルの商品化が実現し、「APUコラボ西の星」は、大分県内の百貨店や小売店にて、販売される予定です。

今後在学学生の中期インターンシップや、正課の授業内で国際経営学部をはじめとする学生向けに三和酒類社員によるゲストスピーカー登壇、共同研究などを進めていく予定です。

商品名	APUコラボ西の星900ml(20%)
品目区分	本格焼酎
アルコール度数	20%
原材料名	大麦(国産)、大麦麹
価格 (消費税抜き)	希望小売価格
	807円



別府湾を望む天空のキャンパス
APUの建物とロゴをあしらった
オリジナルラベルです。

【商品に関するお問い合わせ先】

三和酒類（株）お客様相談室 0978-32-1431

【報道機関からのお問い合わせ先】

三和酒類株式会社広報地域連携部 三好 0978-32-8622

立命館アジア太平洋大学 学長室（広報）ジョーンズ 0977-78-1114